

*この記事は協議会 会員向けメールマガジン用に取材したもので、お話しを伺った方の肩書等は当時のものです（2017年5月配信）

◆◆ 団体 Topics ◆◆

「株式会社テクノファ」の巻

■□ ————— □■
今月は神奈川県川崎市にある株式会社テクノファをご紹介します。事務局 伊良波久美さんにお話を伺いました。

● 「テクノファ」は ISO 審査員研修のパイオニアとして有名ですが、そのような企業がキャリアコンサルタントの養成にも取り組まれているのはちょっと意外な気がします。どのような背景があるのでしょうか。

当社は1993年11月にISO審査員の教育を始めました。ISOは組織のマネジメントの仕組みを評価するシステムで、最初は品質のマネジメント、次いで環境マネジメント、情報セキュリティや食品安全、最近では事業継承やリスクマネジメントなどについて、組織内に要求しているとおりの規格・システムが機能しているかどうかをチェックする認証制度です。我々が提供する教育を受けていただいた審査員が企業に訪問して審査をおこなう、あるいは、企業内でISO事務局を担当する内部監査員の教育しています。

しかし、ISOに取り組めば、認証を取得すれば、すぐさま組織の成長、発展につながるかという、それはさすがに違います。肝心なことは、システムという枠組みだけを整えるのではなく、仕事をする人が、要求事項の中身を理解し、システムを自分の仕事の中に定着させるような機能を果たしていることです。つまり、システムに心を入れることが大事です。そのためには働く人の仕事へのモチベーションが不可欠です。今している仕事は自分にどう関係しているのか、自分の評価や将来のこと、上司と部下の関係など、組織の中には仕事と人を巡っていろんな軋轢があります。それらを考えずに、従業員に無機質にマネジメントシステムを要求してみても、血の通った仕組みにはなりません。日常の事象を管理するとき重要なのは人です。だからこそ人を理解でき、人を適正に評価でき、適切な方向に導いていけるような人材がいけないといけません。そこで当社では、そのような人材の育成を支援するために、2004年度からキャリアコンサルタント養成の分野も手掛けることにしたわけです。

● 「システムに心を入れる」人材の育成支援のために、キャリアコンサルタントの養成を始められたわけですね。テクノファのキャリアコンサルタント養成講座の特徴について教

えていただけますか

講座の開設当初から大事にしていることは、世の中に「本物のキャリアコンサルタント」を送り出すことです。カリキュラムは、JCC（日本キャリアカウンセリング研究会）等の協力のもと構成され、その指導は、受講者の様々な状態を理解し、受け止めることができる、それぞれの分野の専門家でありキャリアコンサルティングの実務者である講師陣により、少人数制で丁寧に行われています。「社会で活躍するキャリアコンサルタント」になるためには、実践的な学びはもちろんですが、まずはキャリアコンサルタント自身が自分のキャリア開発をしっかり行い、自身をよく理解し、自分が築きたいと思う未来像を明確にしている必要があります。プロとして支援するキャリアコンサルタント自身が、その有り様、アイデンティティを確立することができてこそ、他者の主体的な生き方を支援できると考えているのです。そのために養成講座では、まず「CDW（キャリア開発ワークショップ）」を受講し自身のキャリア開発に取り組むとともに、「内的キャリア」の考え方を学びます。「内的キャリア」とは、「何のために働くのか、なぜその仕事をしたいのか」など仕事や働き方、生き方に対するその人の意味や価値、意義などで、主体的な人生のデザインに役立つものです。これらをキャリアコンサルタントの土台として学びながら、カウンセリングやキャリアコンサルティングに関する理論や知識、演習等を習得していくのです。変化する社会で、働く人たちが、「自分はどのように生きていきたいのか、働いていきたいのか」をきちんと理解し支援することができるマインドとスキルを持ったキャリアコンサルタントを養成しようとしているのがこの講座の特徴で、最初にお話した「システムに心を入れる」という思いと似ているのかもしれませんが。

●「CDW」を合宿で実施されているように、キャリアコンサルタントのスキルと同時にマインド育成をかなり重視されているのですね。

「CDW」は、自分の内面を日常から離れて見つめていただくために1泊2日の合宿形式です。忙しい中で大変かもしれませんが、1クラスが定員20名の少人数制ということもあり、その後の受講者同士での結び付きもぐっと深まるようです。

マインドを学びながらアサーショントレーニング演習なども経ますので人間関係に対する意識が変わられる方も多そうです。またクラスの結びつきだけでなく、修了生のOB会といった縦のつながりでの学習機会などもあり、皆さん、いろいろな形でネットワークを広げられています。養成講座修了後も、「ストレスコーピングを活用した面接実技講習」や「面接に活かすアンガーマネジメント」といったより実践現場でキャリアコンサルティングをより活かすための講座を多数用意していますので、生涯の仲間とネットワークを築きながら、クライアント支援のために学ぶ姿勢を持ち続けていただきたいと思います。

【 団体基本情報 】

株式会社テクノファ（川崎市川崎区砂子 1 - 1 0 - 2 ソシオ砂子ビル）

団体・養成講習の HP はこちら→<http://www.tfcc.jp/>